

上矢部地区では、初めてのキャンプ体験を平成19年8月18日(土)～19日(日)に、地元の松尾神社境内において、青少年指導員・体育指導委員・子供会の3団体主催で行いました。

5月から内容の検討・準備を行い、小学生20名(テント5張り)の募集をかけたところ、なんと70名の応募となり、最終的には枠を広げて、抽選で26名の参加者で実施する運びとなりました。

当日は、期待に胸を膨らませた子どもたちが集合し、オリエンテーリング・班割りの後、全員でのテント張りや紙飛行機作り・飛行機飛ばしなどで遊びました。また、自由時間では夏休みの宿題をする子ども達もいました。そして、夕食のカレー作り・飯ごうでのご飯炊きを体験、バーベキューやキャンプファイヤーも楽しみました。いよいよ、テントでの就寝。役員は隣にテントを張り夜通しの監視でしたが、役員間で話も盛り上がり、大きな事故もなく無事に朝を迎えました。

遠くへ出かけなくても楽しく出来る事が確認でき、また、朝食後には感想文も書いてもらい、大変な疲れと満足感を感じながら、来年も実施の約束をして、無事終了しました。なお、「感想文キャンプ集」を作成し、各自治会・町内会会長さんへも配布いたしました。



「戸塚ふれあい区民まつり」と全市一斉統一行動



11月3日(祝)文化の日の恒例となった戸塚ふれあい区民まつりが、東戸塚小学校で盛大に開催されました。

青少年指導員では、例年どおり多くの地区で模擬店を出し、「まつり」を多いに盛り上げました。

戸塚区青少年指導員協議会のテントでは、紙ヒコーキ、スタンプのしおり作りの体験教室を実施しました。色とりどりのしおりを作る子、シンプルなしおりを作る子、紙ヒコーキを大雑把にサッサーと作る子、丁寧に時間をかけて作る子など性格がそのまま出ていました。テント裏では早速作った紙ヒコーキを飛ばしっこして遊びに夢中でした。

会場では、全市一斉統一行動の一貫で「こどもはみんな社会の子」リーフレット入りのクリアファイル500枚を配布しました。親子が一緒に楽しむ一日を、手助けすることが出来たかと思えます。



平成19年9月22日(土)「フレンズ戸塚」にて、17地区54名が参加し、研修会が行われました。

田中区青指会長、戸塚区役所渋谷課長の挨拶から始まり、研修部会副会長から「青少年団体の育成と支援」について、各地域の関連団体と活動事例が紹介されました。

その後、研修者は3分科会に分かれ、「他団体との関わり」について話し合いました。

本研修会の総括に、原田区青指副会長の締め括りで終了しました。

活動報告(10月～3月)

- 第31回 戸塚ふれあい区民まつり
平成19年11月3日(土・祝)
全市一斉統一行動キャンペーン活動
平成19年11月3日(土・祝)
戸塚ふれあい区民まつり会場
児童文化作品展
平成19年12月9日(日)戸塚地区センター
第8回 中学生ボウリング大会
平成20年3月8日(土)戸塚ボウリングセンター

編集後記

今回の青指だより第47号は、活動内容に一步踏み込んで、視点を変えた今までとは一味違ったものに挑戦してみました。1面は今後区全体で広がりを見せるだろう紙飛行機の話、4面は初めての行事に挑戦した一地区の様子、特に地元でキャンプという方法をとった経験を掲載しました。いかがだったでしょうか。皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。また今回で現メンバーによる編集は終了します。ありがとうございました。



この印刷物は再生紙を使用しています。



戸塚区青少年指導員だより

あいちゃん

このマークは、青少年にやさしい環境を願ってヨコハマ青少年指導員が決めたものです。

(題字:田中 薫)

編集発行: 戸塚区青少年指導員協議会 広報部会

事務局: 戸塚区役所 地域振興課 地域活動係 (866)8415

印刷: 桜文印刷(株) (881)3838

戸塚区のホームページから「青指だより」が閲覧できます(アドレスhttp://www.city.yokohama.jp/me/totsuka/)

「児童文化作品展」密着取材

「紙飛行機を作って飛ばそう!」



---- 台紙から、胴体、主翼やおもりなどのパーツをはさみで慎重に切り取っていく。山折りや谷折りにしたり、糊付けしたり。よくわからない箇所は青少年指導員のおじさん達に教えてもらいながら、機体に赤や青の色も塗って、ついに紙飛行機が完成だ。「ドリーム号」と名付けた。「うまく飛ぶかな?」期待とちょっぴり不安を胸に、さあ、ドリーム号の初フライトだ。手から離れた機体は高く舞い上がり、やや弧を描きながら、スイーと飛んで行った。「やったー!」感動が胸いっぱい広がる。----



どんな飛行機が出来るかな?



こんな工作体験コーナーが、平成19年12月9日(日)に行われた戸塚区青少年指導員協議会(以下、区青指)主催「児童文化作品展」に設けられました。「紙飛行機を作って飛ばそう」というコーナーです。

この紙飛行機標準機体の台紙は、小さい子どもでも簡単に作れるように、区青指が独自に工夫して作成したものです。胴体(右と左)主翼、おもり(2個)だけの、いたってシンプルな機体部品を、切り取って糊付けし、色付けをすれば出来上がり、というもので、もちろん大人でも作って、飛ばして充分楽しめます。そのため、当日は子どもたちと一緒に作るお父さんやお母さんの姿も見られました。完成した飛行機はレクリエーションホールで飛ばして遊び、子どもたちにとっては、貴重な体験の一日となったことでしょう。

区青指としても、この紙飛行機は今後も子どもたちに作って楽しんで頂く機会を持つ予定ですので、その時はぜひ紙飛行機作りに挑戦してみてください。



紙飛行機を作って、飛ばして、どうだったかな?

- ・じかんがかかったけど、たのしかった。(小1、男)
・よくとんだから楽しかった!(小2、女)
・楽しかった!(小3、女)
・むずかしかったけど、楽しかった。(小5、男)
・けっこう飛んでよかった(小5、男)

Table with 10 empty cells for a survey or review.

戸塚区連合町内会承認

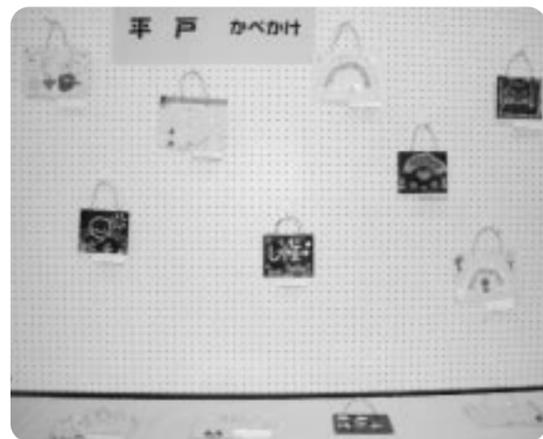


12月9日
戸塚
地区センター

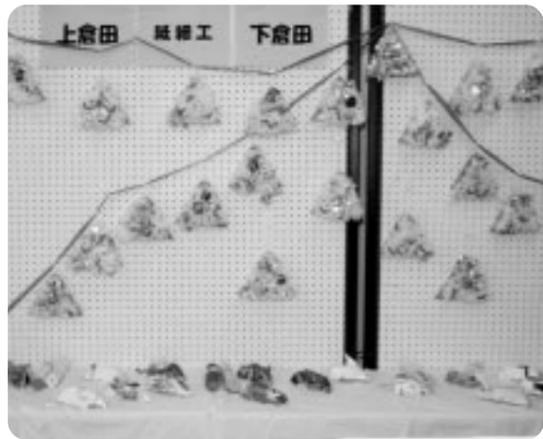
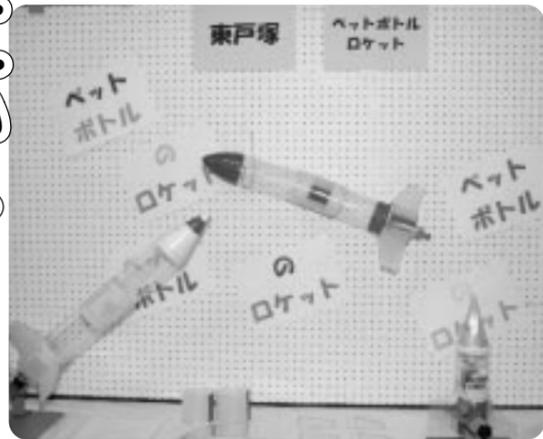
児童文化 作品展



戸塚区の各地区で行われた
工作教室等での自慢の作品を一堂
に集めて展示するとともに、体
験コーナーでは紙ヒコーキ作り
にチャレンジしてもらいました。
どの作品も心のこもった力作で
した。皆さんの出展を感謝しま
す。ありがとうございました。
次回も素晴らしい作品を待つ
ています。



すばらしい作品が集まったよ



ぼくの私の作品はどのくらいかな？